

国鉄当局、解雇(本部)を合む大量不当処分を通告!

ただちに全支部・全職場で怒りの抗議闘争に決起せよ!

12月27日、政府・国鉄当局は、わが動労千葉が闘い抜いた79春闘および10・22〜11・1ストを中心とする三里塚空港二期工事阻止・ジェット燃料増送阻止闘争に対する報復として、本部中野書記長の解雇をはじめとする一〇六名という大量不当処分を発表した。動労千葉本部は、この政府・国鉄当局のなりふりかまわぬ報復的不当処分攻撃に対し、28日零時より3日間、全組合員による減産B行動をはじめとする抗議闘争に断固として決起する。全組合員の皆さん、全国の闘う仲間皆さん! この反処分闘争の貫徹と高揚をもって激動の80年代の突破口を切り拓き、動労大改革!! 戦闘的労働運動の再構築をかちとろうではないか。

解雇1、停職3、減給11を含む、かつてない大量不当処分攻撃

不当処分の内容は、次のとおりである。

支部	氏名	処分	期間
△本部	中野 洋 (書記長)	解雇	
	西森 巖 (副委員長)	停職3ヶ月	
	布施宇一 (執行委員)	" 2 "	
	水野正美	" 1 "	
	山口敏雄	減給3ヶ月	1/10
	吉岡正明	" "	" "
	関 豊	" "	" "
	林 熊吉	" "	" "
	高橋邦彦	" "	" "
	吉野幸成 (青年部長)	" 1ヶ月	1/10
△津田沼支部	片岡一博 (支部長)	減給1ヶ月	1/10
	他 訓告	4名	
	△木更津支部		
	斉藤 勇 (支部長)	戒告	
△館山支部	他 訓告	1名	
	△渡辺房吉 (前支部長)		
	野中浅男 (前副支部長)	戒告	
△勝浦支部	池田喜雄 (前書記長)	"	
	他 訓告	7名	
△成田支部	窪田 亮 (支部長)	減給1ヶ月	1/10
	鶴岡直芳 (副支部長)	戒告	
	岩瀬昌利 (書記長)	"	
△他 訓告	他 訓告	8名	
	△成田支部		
	日暮 明 (支部長)	減給3ヶ月	1/10
	高木梯二 (副支部長)	" 1 "	" "
△他 訓告	森内 猛 (書記長)	戒告	
	他 訓告	17名	

労使安定↓国鉄35万人体制攻撃と対決する労働運動を構築しよう!
今回の政府・国鉄当局が行なった不当な大量報復処分攻撃の意図の第一は、わが動労千葉が、「本部」反動集団のいかなる組織破壊策動にも屈せず、逆に10・22〜11・1減産・ストライキを断固として貫徹したことに對する不当処分攻撃であること。

第二に、国労・動労中央が労使協路線に一層屈服し、35万人体制攻撃に屈服・卒先協力(貨物安定輸送宣言など)しつつある中で、唯一動労千葉のみが減産・ストライキ闘争に決起し、森山発言||処分凍結||スト圧殺策動を事実上粉碎されてしまったことに對する政府・国鉄当局の憎悪をむき出した不当処分であること。

第三に、この二波にわたるわれわれの闘いが日の本労働運動総体の右傾化||産報化策動の強まりの中にあつて、左の側からまき返す突破口を切り拓く闘いであつたと同時に、二期工事強行着工の動向と反対同盟解体策動の強まりという緊迫した状況下で三里塚情勢を大きく闘う側に切り拓いたことなどに対する階級的報復処分攻撃である。

第四に、「本部」反動集団の「千葉の職場秩序の厳正」「嚴重処分」要求なる申し入れを国鉄当局が受け入れ行ってきたものである。

反処分闘争の貫徹をもって80年代を闘う自前の労働運動の出発点としよう!

以上のような不当処分攻撃の本質をみきわめ、反処分闘争貫徹をもって労働運動の原則にふまえた断固たる闘いと着実な前進をかちとり、80年代を闘う自前の労働運動の出発点としよう!

闘争指令 発せられる、
裏、つづく

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!